体験・交流型の修学旅行を提案

広島湾ベイエリア・庄原市

中国地方最大の民泊受け入れ人数
最高の学びは大自然と素朴な人々

広島県北東部に位置する庄原市は、中国山地のほぼ真ん中に位置し、島根県、鳥取県、岡山県に隣接しています。2015年3月には尾道と松江を結ぶ中国横断自動車道「中国やまなみ街道」が全線開通し、山陽と山陰を結ぶ中継拠点として世界遺産や文化遺産、自然遺産を巡ることができるようになりました。

庄原市では、夏の新緑や秋の紅葉、冬の雪などがさとやまの四季を彩ります。また、農業生産量が広島県内最大級で、穀物、野菜、果樹、畜産などその形態も多様です。このような資源を生かし、豊かな自然や農林業などを中心に、庄原市全域で四季を通じた体験が可能です。

心を育む民泊体験（ホームステイ）

現在庄原市では145軒の受け入れ家庭があり、320人程度の受け入れが可能です。庄原市の民泊体験では、生徒の皆さんを家族の一員として迎え入れ、一緒に笑ったり、協力したり、時には叱ったりと、同じ時間、体験を共有し人との絆や温もりを感じていただき、コミュニケーションです。

自然と寄り添うさとやまの生活と、そこに生きる人々の英知には子どもたちの能力を育む力があります。子どもたちの未来のために、今、庄原市の「人と資源」が大きく貢献できると考えます。

■お薦めプログラム

ラフティング体験

8人乗りの特殊なゴムボートに乗り込み、みんなで力を合わせて川を下る「ラフティング」は、チームワークと主体性の醸成に最適です。フィールドとなる西城川（コース全長約5キロ）では、中国山地の美しい大自然を満喫することができます。また、西城川は古来より舟運として利用され、今でもその名残りを垣間見ることができ、歴史、地理、環境など多岐にわたって学ぶことのできるプログラムです。

スポーツ雪合戦

「YUKIGASSEN」として世界中に広がり、国際大会も開催されている「スポーツ雪合戦」。庄原市では、西日本最大規模の雪合戦大会が毎年開催されており、2016年の全国大会では、小学生、レディース、一般の3部門で優勝するなど、全国でも屈指の強豪地区となっています。戦略、戦術を必要とし、チームビルディングが勝利の鍵となります。一瞬の判断力と精神力、何よりもチームワークが問われる戦術性の高いプログラムです。

森林間伐体験

中山間地域では人口減少、少子高齢化に伴い、山林の保全管理が困難になっています。こうした地域の課題について学び、持続可能な社会の実現に向けて取り組む探求型の地域社会貢献プログラムとして、枝打ちや間伐体験などのプログラムを用意しています。この体験を通じて、中山間地域の現状と課題を理解するだけでなく、課題解決に向けて自分で考え実践する力を育むプログラムです。

民泊家庭での心温まる団らん

ラフティング体験

スポーツ雪合戦

森林間伐体験

広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会
（広島商工会議所　産業・地域振興部　地域振興チーム内）
担当（大巳・楢崎）
営業時間　月～金曜日　8：30～17：30（祝日は除く）
〒730-8510 広島市中区基町5-44
TEL 082-222-6641　FAX 082-222-6411
E-mail:hiroshima@hiroshimacci.or.jp
URL http://www.hiroshima-bayarea.net/

広島湾ベイエリア・安芸太田町

人情田舎体験
絆の大切さじっくり学ぶ

広島県の北西部に位置する安芸太田町は、西中国山地国定公園など豊かな自然に囲まれた県内唯一、山地率90％を超える山間の町で、広島市中心部から車でたった45分と近くにあります。昔も今も人々はお互いを思いやり、先祖を敬い、命の大切さを子どもたちに伝えながら暮らしてきました。

広島県内最少人口（6600人弱）でありながら、地域の結束の象徴であるお寺は30以上、神楽団は17団体、消防団活動が盛んなことなどから、人々の『絆』が極めて強い町です。人情あふれ、絆を大切にする町民宅へ民泊するからこそ日本が古くから大切にしてきた「互いを思いやること、人と人とが協力しながら生きることの大切さ」を考え、学ぶことができます。

受け入れ家庭は現在78軒で160人の受け入れ（隣接する北広島町との合同受け入れでは400人）が可能です。教育旅行にかける想いを共有してもらった家庭の皆さんは、日本の将来を担う若者たちに接することを喜びとし、全国の生徒さんに会えることを楽しみにしています。さあ皆さん、人情田舎体験のまち安芸太田町へきんさいや！

（来て下さいね！）

人情田舎民泊体験（ホームステイ）

民泊体験では、都市部では希薄になりつつある人と人との信頼関係、家族の絆、命を育む大切さ、命をいただく有難さなどを身をもって学びます。

お薦め体験1　太田川

ラフティング

安全管理教育を徹底的に施されたインストラクターが指導し、約3キロメートルのコースを全員の協力のもと、2時間程度で下ります。激流ではない当町のラフティングは、力を合わせて下ることを主目的とし、「教育旅行的素材」としては十分な効果があり、かつ安全性を兼ね備えた教育旅行向けラフティングです。

お薦め体験2　安芸太田式平和教育

当町には現在500人以上の被爆者が生活しています。原爆投下直後の凄惨な状況はもちろんですが、72年にも及ぶ長い歴史の中で、特に山間部ならではの食生活、保存食や伝統料理などを取り入れた共同調理を通じ、食育を学ぶ絶好の機会となります。

受け入れの主力は人口の49・3％（県内1位の高齢化率）を占める高齢者です。数十年後、日本に将来の日本を考える機会となることでしょう。

お薦め体験1　太田川

ラフティング

安全管理教育を徹底的に施されたインストラクターが指導し、約3キロメートルのコースを全員の協力のもと、2時間程度で下ります。激流ではない当町のラフティングは、力を合わせて下ることを主目的とし、「教育旅行的素材」としては十分な効果があり、かつ安全性を兼ね備えた教育旅行向けラフティングです。

お薦め体験2　安芸太田式平和教育

当町には現在500人以上の被爆者が生活しています。原爆投下直後の凄惨な状況はもちろんですが、72年にも及ぶ長い歴史の中で、特に山間部ならではの食生活、保存食や伝統料理などを取り入れた共同調理を通じ、食育を学ぶ絶好の機会となります。

受け入れの主力は人口の49・3％（県内1位の高齢化率）を占める高齢者です。数十年後、日本人生をどんな思いで生きてこられたか、どんな辛苦に耐え日本の復興を支えてきたのかを60～80人ごとの車座で聞く相互意見交換型の講話体験を提案しております。

平和公園で資料館を見学した後、町内にお越しいただき、安芸太田式平和教育を受けていただくと教育効果が大変大きいと考えております。

お薦め体験3　神楽よさこい

生徒たちが社会に出た時、自分の考え方と違う人間と上手く折り合いをつけて一緒のビジョンを見ていくかが重要で、志の共有や組織をどう作り運営していくかが必要です。チームビルディングに最適なこの神楽よさこいは、地域に伝わる伝統芸能神楽をよさこい調にアレンジし、太鼓や笛の音をバックに踊ります。役割を決めて進めることでチームワークが醸成できます。

絆や命の大切さを身をもって学ぶ人情田舎民泊体験

語り部を囲んで平和学習

太田川でのラフティング

神楽よさこい練習

広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会
（広島商工会議所　産業・地域振興部　地域振興チーム内）
担当（大巳・楢崎）
営業時間　月～金曜日　8：30～17：30（祝日は除く）
〒730-8510 広島市中区基町5-44
TEL 082-222-6641　FAX 082-222-6411
E-mail:hiroshima@hiroshimacci.or.jp
URL http://www.hiroshima-bayarea.net/

広島湾ベイエリア・大崎上島

心やすらぐ日本の原風景
瀬戸内に浮かぶ感動の島

広島県大崎上島町は、瀬戸内海のほぼ中央に位置する面積約43平方キロメートル、人口約8千人の離島です。本土とは、竹原、安芸津港とフェリーで海上約30分で結ばれ、その他、大崎下島、大三島、今治市との航路もあります。離島ではあるものの、山陽自動車道、広島空港などで主要都市とは短時間で結ばれています。

瀬戸内海特有の温暖な気候と風光明媚な環境の中、島という限られた土地に生き、造船業、海運業、ミカン、レモン、デコポンなど多種類の柑橘栽培をはじめとする農業、水産業など、先人たちのたゆまぬ努力によって発展してきました。

平成23年より体験型修学旅行の受け入れに向けてスタートし、島の特性、文化を生かしたさまざまなプログラムを用意しています。

中でも一番のお薦めプログラムは、「櫂伝馬体験」です。昔は陸の伝達手法は早馬でしたが、櫂伝馬は海での情報伝令の役目を担った木造船で、14人の漕ぎ手と太鼓1人、船頭1人の16人が乗り込みます。それぞれのポジションで役割を担い、独特の掛け声と太鼓で調子を合わせ、心を一つにして櫂を動かさなければならず、チームワークの育成に比類のない、学校教育には極めて有効なプログラムです。

また、瀬戸内の穏やかな海を渡り甘藻場で海の生命について学ぶシーカヤック体験、刺網漁や船釣り、波止釣りでとれたばかりの魚の調理体験、タイやヒラメの養殖漁業体験、温暖な気候で育まれたミカン、レモン、デコポン、はるみなどの多種類の柑橘やブルーベリー、イチゴ、トマトなどの栽培過程を学ぶ農業体験、広島商船高等専門学校の練習船「広島丸」を使った海洋環境学習のほか、船舶の舵取りやエンジンルーム、ロープワークを学べる体験乗船などで島をまるごと体験していただけます。

民泊登録家庭も160軒を超え、約320人の受け入れが可能で、島の人々と生活を共にすることで豊かな自然と島独特の人情を感じていただき、島の人々の生き方や命の源の食生産を担う農山漁村の役割を考え、理解する機会となります。これら「まるごと島体験」から、自らの生活や家庭、生き方を省みる機会となり、生きる力と豊かな心を育むきっかけになればと考えています。

皆さまに安心して来島いただけるよう安全、衛生、防火など各種講習会を行い、万全の体制で皆さまをお迎え致しますので、ぜひ大崎上島にお越しください。

【お薦め体験】

櫂伝馬（体験人数112人）

和船文化を受け継ぐ大崎上島に200年以上も前から伝わる木造船。瀬戸内の水軍が偵察船として使用していたとされる櫂伝馬で心を一つにチームワークの大切さを学びます。

シーカヤック（体験人数100人）

無人島周辺を航海します。プランクトンや稚魚が棲む「魚のゆりかご」と呼ばれる瀬戸内海でも有数の甘藻場を観察し環境学習をします。

農作業体験（体験人数100人）

瀬戸内海特有の温暖な気候で育った柑橘類やブルーベリー、トマト、イチゴなどの栽培過程から農業の厳しさを学び、食について学習します。

チームビルディングに最適な櫂伝馬体験

農業や食を学ぶ農業体験

島ならではのフェリーでお別れ

瀬戸内海で船釣り体験

シーカヤック体験

広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会
（広島商工会議所　産業・地域振興部　地域振興チーム内）
担当（大巳・楢崎）
営業時間　月～金曜日　8：30～17：30（祝日は除く）
〒730-8510 広島市中区基町5-44
TEL 082-222-6641　FAX 082-222-6411
E-mail:hiroshima@hiroshimacci.or.jp
URL http://www.hiroshima-bayarea.net/

広島湾ベイエリア・江田島

広島港から船で30分
瀬戸内海の牡蠣と民泊の島

広島県江田島市は、広島港（広島市）から船で約30分の位置にあります。世界遺産の原爆ドームや宮島から近く、特に宮島から船をチャーターすると約40分で入島することができます。また、江田島市は橋で本土と接続していますので、陸路で島に入ることも可能です。所要時間は、広島市内から約1時間30分です。

心とココロの交流

民泊体験と家業体験

江田島市では、現在約100軒の受け入れ家庭があり、最大240人の受け入れが可能です。

江田島市の民泊体験では、生徒をお客さまとしてではなく、家族の一員としてお迎えしています。家族みんなで一緒に食事を作り、食べ、団らんを共にすることで、家族の大切さや人の温かさに触れることができます。

また、家業体験では、受け入れ家庭ごとにさまざまな体験内容を用意しています。受け入れ家庭の家業や生業である農業、漁業などの営みをそのまま体験し、受け入れ家庭と常に行動を共にすることで、心とココロの交流が深まります。

さらに、江田島市産の野菜や魚介類を調理し食べることを通じて、新鮮で安全な農作物、魚介類のおいしさ、食の大切さなども実感できます。

オンリーワン体験

江田島市にはオンリーワンが二つあります。一つ目のオンリーワンは牡蠣打ち体験です。江田島市の牡蠣生産量は、毎年全国で1、2位を競っており、全国生産量の約15％を占めています。この体験は江田島市でしか味わえない体験です。牡蠣がどのような作業過程を経てできるかを学び、また、牡蠣が自然界で果たしている役割などの環境学習もできます。

もう一つのオンリーワンは、世界三大兵学校の一つである海上自衛隊（旧海軍兵学校）です。米国のアナポリス、英国のダートマスとともに海軍の世界三大兵学校としてその名を馳せました。校内では高校生と同年代の若き特攻隊員たちの遺書などを通して「平和の大切さ」を理解することができます。

被爆地ヒロシマを語る

原爆投下によって放射能被害を受けた大勢の方々の中に、江田島市在住の被爆者の方々がいらっしゃいます。被爆者の体験や思いをクラスごとの小単位で聞き、対話することで平和学習としての教育効果が期待できます。

島ならではの体験

周囲を海に囲まれている「島」ならではの生活に触れることで、私生活で見失ったものを顧みることができ、今後の日本を担う生徒たちの役に立てると考えています。

皆さまに安心して来島していただけるよう、受け入れ家庭を対象とした食品衛生、安全対策などの研修会を行い、万全の態勢でお迎えいたします。ぜひ江田島市にお越しください。

家族の大切さや人の温かさを思い出にお別れ

牡蠣打ち体験

農家での家業体験

瀬戸内海でシーカヤック体験

広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会
（広島商工会議所　産業・地域振興部　地域振興チーム内）
担当（大巳・楢崎）
営業時間　月～金曜日　8：30～17：30（祝日は除く）
〒730-8510 広島市中区基町5-44
TEL 082-222-6641　FAX 082-222-6411
E-mail:hiroshima@hiroshimacci.or.jp
URL http://www.hiroshima-bayarea.net/